

銀漢亭日録



伊藤伊那男

7月2日(土) ▼「銀漢亭Oh! 納涼句会」、超結社で四十人。学生が参加したのも画期的。持ち寄り五句。席題で二句出し二回。終わって十人ほどで「ふくの鳥」。朽木直さん名幹事。

3日(日) ▼暑い日。十七時、新橋の中華料理店「新橋亭」にて本行寺住職・加茂一行さんの句集『観自在』出版記念会。金原亭伯楽師匠の隣席。祝辞。二次会はカラオケ。

4日(月) ▼昨日の酒が残っている。八月号校正。発行所「かさ、ぎ俳句勉強会」あと十二人。今日から若井新一さんの巾着加子が入荷。近刊のエッセイの削除追加原稿を秋葉男さんに渡す。

5日(火) ▼「信州伊那井月俳句大会」募集句選句約千八百句。三十句選送る。「雲の峰」の有隣先生と駅でばったりお目にかかる。店、布目さん七人。全体閑散。

6日(水) ▼ORIX時代の上司中野さんより連絡あり。鎌倉での所属誌終刊の予定にて十月から仲間七名で「銀漢」に入会したいと。店「宙句会」十二人。ヴーヴクリコで私の明日の誕生日を祝ってくれる。「きさらぎ句会」十人。「柳」主宰水方裕子さん一党七人など。

7日(木) ▼六十七歳誕生日。猛暑の日。井蛙さんセットしてくれて赤坂の迎賓館見学会。店「十六夜句会」十二人。誕生祝いに色々な方が来てくださる。賑やか。

8日(金) ▼店、俳句関係者がほとんどいないという珍しい日。

解き、十八時半より「平安」にて前夜祭。乾杯の音頭。あと古市文子さんのお誘いを受けもう一杯。いわきの酒場街が賑やかなのに驚く。

18日(月) ▼海の日。二日酔い。九時半頃、アクアマリンふくしまへ。いい水族館。バックヤードの見学も楽しむ。十三時、「復興いわき海の俳句全国大会」。事前投句は二千句超。当日句百数十人の参加か。茨木和生氏講演の間に、今瀬剛一、四ツ谷龍、アクアマリン・安部館長、地元の俳人と選句。「銀漢」メンバー活躍する。山崎祐子さんや地元の古市文子さん達、実行委員の方々に感謝! 十六時、小野寺車でいわきを後に。朝霞で下車し、駅前にて五名で酒盛り。

19日(火) ▼小野寺清人さんの「気仙沼の魚を喰う会」。出版関係者三十数名集合。鰹、鰯、帆立、海鞘、烏賊……。皆さん、酒を飲むこと! 畔柳海村さん句集『マダンの風』上梓。持参して下さる。

20日(水) ▼「三水会」五人。

21日(木) ▼古市文子さんより鰹一本到来。すぐ捌き、炙る。店、「銀漢句会」あと二十二名。

22日(金) ▼発行所、八月号発送。そのあと「門」同人会へ貸し出し。店にて畔柳海村句集の発送。あと、「金星句会」。終わって六人店。

23日(土) ▼「纏句会」。壺焼、夏野菜のジュレ、題の「鰻」から鰻フライ、握り(新子が出る)。酒は高清水。あと渋谷の本屋に寄り、「鳥竹」で少々。帰宅すると桃子の中高同期五人ほどが帰るところ。懐かしい面々。そのあと、家の食事というので、鳥鍋などでまた飲む。華子が乗鞍高原合宿から戻り、明日から莉子が槍ヶ岳へ四泊縦走

9日(土) ▼「銀漢本部句会」。選挙がらみで公的会場取れず、中野サンプラザ。五十七人。あと四十名近くで「炙谷」にて納涼会。帰宅すると成城仲間(幼稚園組)来ていて参加。あと宮澤と京都の話など。

10日(日) ▼午前中、身辺雑用。午後、成城仲間(小学校組)のK建設国領別宅にて流しそうめんの会。五、六家族。庭の竹を切って樋を作る。思えば祖父参加はいつも私一人。庭を渡る風が心地良い。

11日(月) ▼伊勢神宮の宮司河合真如氏が武田禪次さんの句集『留守詣』出版の祝いを言いたいとして、宮澤と「銀漢亭」に来店。武田夫妻。河合さんは私には滋賀県高島市の筆を、また、銀漢への基金も置いていって下さる。「演劇人句会」十二人。

12日(火) ▼「火の会」十人。

14日(木) ▼「アルバカの会」。うさぎ、小石、敦子、峯尾、四女史幹事の会。「首」「長」「族」読み込みの句会。三十名程集まる。佐藤文香、辻村麻乃、しなだしさん他、珍しいメンバーも。

15日(金) ▼中川さん来て整髪。夏向けにやや短く。荒梅雨。発行所の「葛句会」選句。あと四人店。杉阪さん腰痛悪化で休み。閑散ながら宮崎県の延岡市の岸上玲子さん(「河」)が御子息と訪ねて来て下さる。

16日(土) ▼一日雑用。宮澤は三日ほど京都撮影と。夜、桃子と鮎の塩焼。海鞘などで酒盛り。

17日(日) ▼昼、池袋から清人さんの車でいわきへ。港の千度祓の儀式で古市文子さん、茨木和生先生などと合流。ワシントンホテルに荷を

登山へ。

24日(日) ▼やや疲れあり、選句したり、眠ったり。午後、杏子一家来て遅い私の誕生祝いと。バルコニーでパーベキューパーティー。途中、一眠り。最後、私のガリッククライス好評。

25日(月) ▼選句、急がねば……。三日前から左肩上がらず。一年半振りに全体。店、超閑散……。

26日(火) ▼対馬康子さん久々。「萩句会」あと店で納涼会十六人。あとは閑散。二十二時半、閉め「大金星」。日程の整理。やらねばならぬことの期日一覧。店長・井上君と酒の話など。

27日(水) ▼九月号選句など続く。店「雛句会」十一人。

28日(木) ▼あ・ん・ど・うクリニック。高血圧対策の投薬量試験中。都知事選期日前投票。銀行入金。コンビニ二送金。郵便局切手購入。薬局……など巡る。暑くなりそうな日。原稿書き。莉子、槍ヶ岳登山から戻る。四日間霧の中であつたと。東京梅雨明け。

29日(金) ▼店、「閨句会」(藤森壮吉さん)。たまたま肖子さん来店……。

30日(土) ▼九時、東京駅から軽井沢へ。しなの鉄道経由、小諸へ。快晴。蕎麦店「刻」一番客。二足盛。ベルウイン小諸にて第八回小諸日盛俳句祭。二日目からの参加。一時から教室。本井英、筑紫磐井さんと講師。四時シンポジウム。途中参加者の指名で一言喋る。あと親睦会。そのあと昨年行った「花むら」。鯉こく二枚食べて満足。小諸城址から星を眺めてホテルへ。